



かるがも

<https://www.pref.chiba.lg.jp/kodomo>

2025年(令和7年)5月



新年度を迎えて

病院長 皆川 真規



新緑が芽吹き、心地よい春風が吹き抜ける季節となりました。
皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

千葉県こども病院では新しい年度を迎え、患者さんに寄り添った医療の提供を目指し、スタッフ一同さらなる精進を重ねております。また、地域の皆様との絆を深め、信頼される医療機関であり続けるためにより一層の努力を重ねる所存です。

私たちの病院の基本理念は「その子らしく、その子のために」です。その言葉の意味するところには「児童の権利に関する条約」の基本理念に基づいて、すべての子どもたちの基本的人権を擁護することと、子どもたちの多様な個性を尊重することがあります。そのためには、私たち大人が他者を尊重する心を常に持ち、自らも他者から尊重され、社会の中で幸福感を実感できる生き方をおくっていきることが必要です。法律や社会のルールを守るのは当然のこととして「こうでなければいけない」「こうあるべきだ」といった、個人の価値観を他人に強要することのないようにしていきたいものと思います。

少子高齢化社会と言われておりますが、このまま子どもが減り続けていって誰もいなくなってしまうとは思えません。政府のこども家庭庁が推進する「こども未来戦略」では、若い世代が希望どおり結婚し、希望する誰もが子どもを持ち、安心して子育てできる社会、子どもたちが笑顔で暮らせる社会の実現を目指しています。当院でも子育て世代の職員が沢山おります。それらの職員も自分たちの子どもを育てる役割を担っているのは、患者さんの保護者の皆さんと同じです。いつもの医師、いつもの看護師、いつもの職員が対応できることは、患者さんとそのご家族の安心感につながっていることと思いますが、患者さんに切れ目のない医療を提供していくためには、チーム医療の体制を充実させていかなければなりません。電子カルテの普及は、患者さんの診療情報をチームで共有するには大変有用ですが、そこに情報を書き込むのも、読んで理解して行動するのは人間です。まだまだ発展途上の部分もありますが、暖かく見守り、叱咤激励していただければ幸いです。

最後に、皆様の健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。今後とも私たちの取り組みにご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2025年度

新体制

看護局長 平井 恵子

このたび、看護局長を拝命いたしました。

私は、これまで看護管理者として県立病院を3施設経験してまいりました。それぞれが専門病院ではありますが、看護師たちは患者中心の看護を展開しておりました。こども病院も理念に基づき「その子らしく、その子のために」患者の人権を尊重した看護をおこなっているものと確信しており、とても楽しみに感じています。いつの時代も「患者さんのために」と考えてきた部分はありますが、これからの時代は、職員も大切にされ、働き続けられる環境を整えていくことも重要であると考えます。新メンバーを迎えました看護局職員、力を合わせ努めていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



新任医師紹介

腎臓科 石塚 喜世伸

いしづか きよのぶ

4月より着任いたしました、腎臓科の石塚喜世伸と申します。以前、2010～2011年に1年ほど在籍しておりましたが、10年以上ぶりに戻ってまいりました。この広い千葉県において、小児腎臓領域を支える唯一無二の病院と認識しております。私の師匠である久野正貴医師を微力ながら支え、そして千葉県のために尽くしたいと思っております。どうぞ宜しくお願い申し上げます。

**新生児科 海老原 知博**

えびはらともひろ

4月より着任いたしました、新生児科の海老原知博と申します。出身の愛媛県で小児科の研鑽を積み、2019年からは3年間ほど千葉県こども病院に勤務しておりましたが、その後2年間の海外留学を経て戻ってまいりました。新生児科医師として赤ちゃんの診療はもちろんのこと、赤ちゃんが少しでも早くお家に戻って、ご家族と一緒に楽しく過ごせるよう尽力していきたいと思っております。宜しくお願い致します。

**代謝科 志村 優**

しむらまさる

このたび、千葉県こども病院代謝科の主任医長を拝命しました志村優と申します。先天代謝異常症を中心に、ミトコンドリア病や小児肝疾患など、幅広い専門的診療を提供する当科で、多職種と連携しながら、お子さんとご家族に寄り添う医療を実践してまいります。新しい視点とチーム力を活かし、より良い診療体制づくりに努めてまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

